

和光

発行 〒894-0007 鹿児島県奄美市名瀬和光町1700番地
国立療養所 奄美和光園
電話(0997)52-6311 FAX(0997)53-6230

令和3年11月1日
(2021)

第123号



■表紙	1
■デリバリー秋祭り	2～3
■新人紹介	4
■看護課フィッシュ活動	4～5
■「世界自然遺産登録は島民にとって幸せか否か」	6
■不自由者棟 安らぎの生活空間の紹介	7

■消防訓練を実施しました	8～9
■あまみ保育園のハロウィン	10
■プルメリアが咲きましたよ!	11
■奄美和光園交流会館(歴史資料館)からのお知らせ	11
■学術活動	12
■奄美和光園の歴史	13～14
■NST News Letter	15
■診療統計・人事異動・和光園日誌・編集後記	16

基本理念

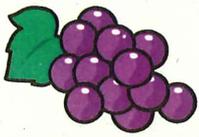
私たちは、入所者一人ひとりの生命の尊厳と人権を守り、豊かな自然環境につつまれた穏やかで心豊かな療養生活と、安全で安心できる医療を提供します。



加世間峠から見た二つの海（左が東シナ海、右が太平洋）

基本方針

1. 入所者の終の棲家として心穏やかな暮らしを支えることを基本とします
2. 入所者自治会とよく話し合い 入所者本位の運営に努めます
3. 入所者一人ひとりの日々の変化にきめ細かく対応いたします
4. ハンセン病による後遺症や合併症の対策をしっかりと行います
5. 入所者が高齢化していることを念頭に置き 健康保持の活動や生活を支える医療さらには感染予防・認知症対策に重点を置きます
6. 地域医療とも連携し 適切で標準的な医療の提供に努めます
7. ハンセン病に対する正しい知識を普及させるため 啓発活動に努めます
8. 開かれた療養所となることを目的に地域社会との交流促進に努めます
9. 入所者の健康と安全な生活に貢献できるようすべての職員の質の向上に努めます



あきまつり



デリバリー秋祭り

コロナ禍のため集まらなくてもできる楽しいレクリエーションはないか、考えついたのが、入所者のお宅に職員が訪問し祭りを届ける「デリバリー秋祭り」。祭りを盛り上げ、秋を感じてもらえるもの……秋といえば、味覚の秋！ スポーツの秋！ 芸術の秋！ 祭りと言えば旗！ 粋なデザインのものぼり旗と提灯を飾り付けた軽トラック“秋祭りデリバリー号”が完成。

澄み渡る秋空に、♪(サブちゃん)祭り♪の歌声とともに軽トラ秋祭りデリバリー号出発！

侍姿の司会者はさっそうと馬を走らせ名セリフで紹介。まずは、フルーツ狩りで入所者がぶどうや柿をゲット。「これスポンジじゃないの(笑)」とぶどう型スポンジを手に入所者の笑顔。

次に、職員によるスポーツ特技披露。気合いの空手演武（息があがってフラフラ）、馴染みのゲートボールでは入所者も飛び入り参加♪一発ゲート通過に拍手喝采！ トライアスロン（三輪車を必死にこいだ）、入所者と繋いだバレーボール（方向音痴なボールのやりとり）、暴れん坊将軍の曲に大トリ弓道！ 勇姿総看護師長の弓矢は見事、的(まと)を射ぬきました。

初めての企画ではありましたが、総看護師長をはじめたくさんの職員のアイデアを結集させ、楽しく笑顔溢れるイベントを入所者に届けることができました。

看護サービス委員会

不自由者棟 看護師 最上 直子



園長開会宣言
デリバリー号出発進行

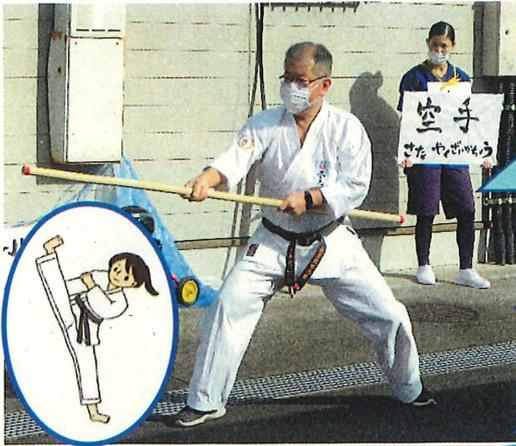


和光園の祭りを
駆ける侍！



どれも
おいしそうね





薬剤科長 迫真の技



沿道から声援 がんばれー!



ソーレ! みんなにボール 届けー!



全集中!

げいじゅつ・スポーツ・みかくを楽しみました!

♪ 島踊り ♪



新人紹介

清掃等軽作業 杉島 友子 (すぎしま ともこ)

庶務課の清掃作業員として10月からお世話になっています、杉島友子です。

和光園をきれいにして、利用される方々が気持ちよく、皆様に喜んでもらえるように頑張りたいと思います。

私のモットーは「人に感謝、生きてる事に感謝」です。よろしくお願ひします。



清掃等軽作業 安田 真波 (やすだ まなみ)

初めまして。10月から庶務の清掃作業員として働かせていただいています、安田真波と申します。初めての業務で不馴れな事もあると思いますが、皆様のお役に立つよう精一杯仕事に取り組みたいと思います。

よろしくお願ひいたします。

調理助手 有村 志津子 (ありむら しづこ)

10月より給食室で調理補助として勤務させて頂いております有村志津子と申します。

3月までという短期間ではありますが少しでも皆様のお役にたてる様、日々、頑張りたいと思います。

どうぞよろしくお願ひ致します。



看護課フィッシュ活動

総看護師長の「FISHで元気に！」をモットーに、看護師長研究会では「フィッシュ導入による部署の活性化」の研究に取り組んでいます。フィッシュ哲学とは、相手に関心を寄せ、遊び心で人を喜ばせながら生産性を高める考え方です。各部署では、スタッフ間でお互いの良いところを認め合う“ハッピーカード”を作成し、看護師長が本人にカードを届け、同時に掲示も行いました。どの部署でもカードを貰うことや自分が大切にしていることを認められる嬉しさを感じていたようです。ハッピーカー

ドの効果で、お互いに「ありがとう」を口にすることが多くなり、部署のチームワークや楽しく仕事をするエネルギーが高まりました。

総看護師長の遊び心のある発想で看護師長・副看護師長も自己の好きな一文字と選んだ理由を似顔絵とともに掲示板で紹介しています。みなさんもぜひプラスのパワーに触れて元気になりましょう。

看護課 副総看護師長 林 理恵

看 護 課 FISH

フィッシュって
相手を認め、一緒に楽しんで
仕事をする力になるよ

治療棟
~Happyをありがとうの森~

病棟
~ENJOY~

ゆらいの廊
~SMILE~

不自由者様
みんなの強みを発揮できるチーム
を目指します!

Happyを ありがとう の 森

Together we can do it!

HAPPY CARD
病棟

ゆらいの廊のハッピー森

フィッシュで
部署を元気に!!

看護課の一字紹介

看護課
それぞれ
が絆で
団結!

この文字を
選んだ理由
を紹介しま
す

煌 一人一人が“キラリ”と輝くオンリーワンを目指す
坂島副看護師長

和 いろいろな人、集団それぞれのよさが合わさり、バランスよくつながる
林副看護師長

絆 コロナ禍ですが、入所者、職員皆が希望ある前向きな日々を過ごせますように
窪田看護師長

笑 「笑」で心身の健康とポジティブシンキングを目指すたい♥
本田副看護師長

安 心とからだの安らぎ、生活の安らぎを支える
寺岡看護師長

希 コロナ禍ですが、入所者、職員皆が希望ある前向きな日々を過ごせますように
窪田看護師長

喜 つながる喜び、支え合う喜びとみんなで見分ち合う
坂口看護師長

穂 「和顔愛語」(和やかな顔つきで優しい言葉で接する)という言葉が好きです
川畑副看護師長

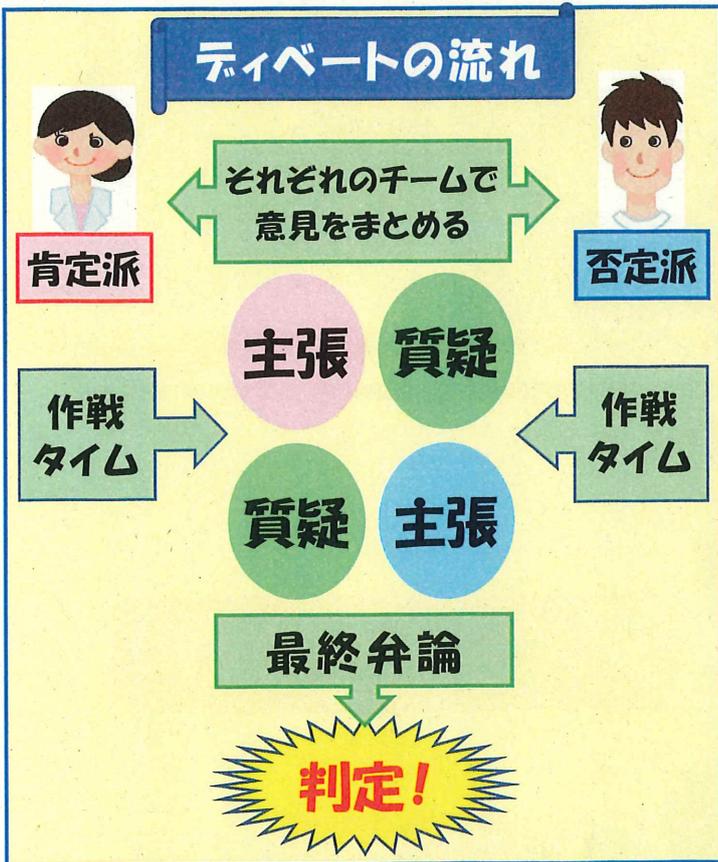
「世界自然遺産登録は島民にとって幸せか否か」

今回初めて「ディベート」(2チームに分かれて行う討論会)を用いた介護員研修を行いました。いったいディベートとは何か戸惑いもありましたが、研修前にそれぞれのチームでテーマ“世界遺産と島民の幸せ”について説得材料となる情報を意欲的に集めていました。さすが、介護員の団結力!! 研修後は「どうしたら伝わるかを考えさせられた」「相手と意見が違ってても否定せず聞く耳を持つことが大事」「困っ

ているときの助け舟が嬉しく、協力の大切さを感じた」と、肯定する意見がほとんどでした。

1時間という限られた時間内で、アサーティブ(自らの思いや考えを真っ直ぐに伝える)な意見交換ができ、楽しみながら研修できました。明日から、この経験を活かして頑張りましょう。

治療棟 介護長 作下 志信



不自由者棟 安らぎの生活空間の紹介

みなさんは、どのような場所や空間が一番落ち着きますか？ 室内の明るさや音、テーブルやイスの位置、その高さ、室内の飾りなど居心地の良さは人により様々だと思います。

不自由者棟では昨年、食堂ホール環境を見直す試みを行いました。ケアの目標となる指針PEAP（8つの次元と環境支援の31項目で構成）をもとに、園内の看護研究として取り組みました。多職種の協力を得て多くの意見を頂き、テーブルの配置や、掲示板・時計の位置や明るさの調整、食器棚やテレビ・ソファの位置など、指針を基に環境調整を行いました。安らげる

空間、触れ合える空間、安全安心の場所を作ることは難しく、試行錯誤を繰り返し完成しました。

今回、食堂ホールの現在を一部紹介します。入所者のみなさんの反応はとてよく、食堂ホールで楽しく過ごす姿や笑顔をよく見かけるようになりました。この結果を論文にまとめ園内発表、今年の国立病院総合医学会のポスター発表（WEB上）をさせて頂きました。今後も、一人ひとりが安心して生活できる支援を継続していきたいと思っています。

不自由者棟 看護師 長井 久美子



消防訓練を実施しました

10月7日(木)13時30分から消防訓練を実施しました。

その日は朝から雨が降りそうで降らず、天気予報も雨マークがあったり、なかったりとまちまちでしたが、「奄美だから」ということで、その時になってみないと分からないという状況でした(結局は、日ごろの行いが良いため雨にも降られず無事終了しました)。

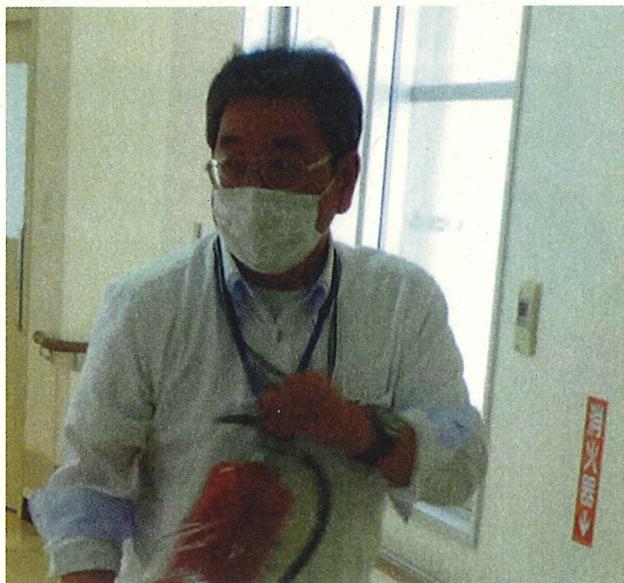
火災発見者は、大きな声で周囲に知らせるとしていましたが、今回は同時に火災報知機のスイッチを押してもらいました(今までは業者の方に作動してもらっていました)。しかし、思いのほか、非常ベルの音が大きく火災発見者の声が聞こえなくなるということも分かりました。



今回新たな取り組みとして、消防への通報と園内放送を同時に行うこととしました。庶務・会計の役割分担を確認していたところ、今までは1人で、消防へ通報した後、園内放送を実施していたとのことでしたが、時間短縮のため、同時に実施してもらうこととなりました。



消火隊は、自分の職場から消火器を持って走るのは大変なので、火災現場付近の消火器を使用することとして、少しでも早く現場へ駆けつけることを優先しました。



今回は、昼間に火災が発生した想定で実施したので、参加する職員数も多く、本部の設置や、消火にあたる病棟職員もすぐに対応できましたが、夜間、時間外に発生した場合は、職員も少なくなります。誰かがしてくれるわけではなく、自分で消火や、搬送などその場の状況で判断しなければいけません。火災がないことが良いのですがいざ発生した際は、訓練とはいえ一度でも経験していれば少しは落ち着いて行動できるのではないかと思います。BLS研修のようにインストラクターをつけて、個人ごとに評価することはできませんが、一人でも多くの職員に今後も参加していただきたいと思います。園長の講評にもありましたが、消火・避難を迅速かつ確実に実行できるよう自分の役割を確認し、今一度手順の確認を行っていただきますようお願いします。

今年の全国防火標語は『おうち時間 家族で点検 火の始末』です。入所者の皆さんの安全を守るため、職員が家族となり、火の点検・始末をお願いします。

庶務班長 岡部 達枝



初期消火に失敗。慌てず消火栓で消火へ。



模擬患者を安全な避難経路で救護班へ。



実践さながらの救護班。



園長へ全員の無事を報告。訓練終了。

あまみ保育園のハロウィン

さあ！10月といえば「ハロウィン」。「トリックオアトリート お菓子をくれないと、いたずらしちゃうぞー」。今年も可愛い子どもたちの掛け声でスタートしたハロウィン。

小悪魔・ぐりとぐら・恐竜・ウッディー妹兄・プリンセスに仮装したあまみ保育園の子どもたち！ポカポカした陽気のなか、園内散歩へしゅっぱーつ。はりきってゴーゴー！

保育園の門を出ると職員の方々が笑顔でお出迎えし、いつもと違う雰囲気ドキドキする子、不思議そうにする子、職員の陰に隠れる子、手を振って愛嬌たっぷりの子、いろんなしぐさや表情を見せてくれました。散歩中の子どもたちに「あっげーかわいいね」「お菓子どうぞ」と声をかけて頂いたり、手を振ってくださり、いつもの散歩コースも子どもたちの可愛さと職員や入所者さんの声援で、にぎやかな楽しい散歩になりました。

ハロウィンまでの間、毎日のように「晴れますように」と願いながら楽しみにしていた子どもたち。当日はお天気にも恵まれ、両手に抱えきれないほどのたくさんのお菓子里に大喜びでした。ありがとうございました。

素敵なハロウィンになりました。来年はどんなハロウィンになるか楽しみです♪

あまみ保育園 保育士 碩 茜



プルメリアが咲きましたよ!

2年前、転出者からいただいたプルメリアの枝が大きく成長し、ようやく花を咲かせました。

プルメリアの花言葉は「気品」「日だまり」などです。由来は、優美なその花姿と放つ優雅で上品な香りだと言われています。5枚の花びらがとても美しく、頭や首にかける「レイ」にもよく使われます。和光園では自治会事務所と川淵に植えられていますが、20年ほど前に、入所者から、「きれいだろう。これは私が植えて、増やしたんだよ。」と教えていただいた思い出深い花です。「必ず和光園に戻って来ます!」と、ある方との約束は生前に間に合わず果たせなかったのですが、大好きな花をお見せすることが叶ったように思います。

栄養係長 青堀 尚子



挿し木で育てた株



グラデーションが美しい

奄美和光園交流会館 (歴史資料館) からのお知らせ

当館は令和2年8月3日に開館しましたが、新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大防止のため休館しており、現在、ホームページからの情報発信を進めています。右記のQRコードからアクセスできますので、ご視聴いただければ幸いです。

奄美和光園ホームページ
交流会館コーナー



YouTube



学 術 活 動

コロナ禍の影響で、学会の開催もWEB開催やハイブリッド（現地開催+WEB）開催が続いています。手帳を見返すと最後に飛行機に乗ったのは2019年11月30日、2年前のことでした。年内の学会はすべてWEBやハイブリッド開催と決まっております、島籠り生活更新中です。医学書はインターネットでも購入できますが、内容を見てから購入したいので、そろそろ本屋さんに行きたいです。

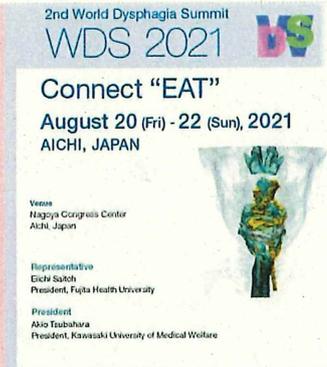
未知のウイルスであった新型コロナウイルス感染症も、世界規模で新しいデータが日々報告されるようになりました。感染症学や呼吸器疾患は専門外のため、その勉強だけでも大変なのですが、今年度、当園は病院機能評価の再審を1月に控えており、書類の準備で非常に忙しいので、学会がWEBやハイブリッドで開催されるのはとても便利です。新型コロナウイルス感染症の1日も早い終息を切望しますが、以前のように学会が現地開催のみとなってしまうら不便だな～、とも思っています。

さて、忙しいと言いつつも本業である皮

膚科の学術活動はサボってはいられません。4月～10月の学会参加、学会報告、論文発表が表になります。まだ雑誌に掲載されていないミニレポートが2編と、今から論文を完成させる予定の2編があり、下半期もあつという間に過ぎていきそうです。

この何ヶ月か、午前：入所者の診療、午後：皮膚科外来、夕方以降（自宅も含む）：書類作業、と仕事内容が完全に3部構成になっています。昨日のことが3日前のこのように感じます…

副園長 馬場 まゆみ



学会参加

4/18	第187回 日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会
4/24～25	第37回 日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会
6/10～13	第120回 日本皮膚科学会総会
7/18	第188回 日本皮膚科学会鹿児島地方会
8/19～22	日本摂食嚥下リハビリテーション学会 第26・27回 合同学術大会、第2回 世界嚥下サミット
10/23	第16回 東北摂食嚥下リハ研究会
10/23	第73回 日本皮膚科学会西部支部学術大会



学会発表

第187回 日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会	生物学的製剤使用承認施設 初年度の報告 足底に発症した血管平滑筋腫の1例
第120回 日本皮膚科学会総会	ハンセン病療養所入所者における皮膚癌の傾向
第188回 日本皮膚科学会鹿児島地方会	Mosaic localized neurofibromatosis type 1の1例
第26・27回 日本摂食嚥下リハビリテーション学会合同学術大会	ハンセン病後遺症による摂食嚥下障害の特徴

論文発表

西日本皮膚科 第83巻5号	増殖性タール・ピッチ皮膚症の1例
日本フットケア・足病医学会誌 第2巻3号	ハンセン病による足病変の特徴および本邦におけるハンセン病問題

一 奄美和光園の歴史 一

(7) 第7代大西園長～第11代瀧澤園長 (50周年記念誌出版)

第7代園長大西基四夫は手腕家であり、昭和32(1957)年から昭和44(1969)年迄の12年余におよぶ在任期間に松原事務長とともに、今日の和光園の基礎をつくり上げた¹(昭和34(1959)年治療棟、研究棟等完成。昭和35(1960)年外科、理療科、中央材料室、薬局、医局等が完成。昭和35年事務本館着手。昭和38(1963)年から39(1964)年講堂が完成²)。また、和光園から浦上に至る2kmの道はいつも松原事務長率いる通称「松原組」の奉仕作業によって整備されていた³。一方、東屋へ続く道は一名「大西道路」と言われていた。それは、大西園長がこの道路開通までの総監督であったためである⁴。



東 屋



東屋からの展望



和光園開園当初の地域住民との約束があり、輪内住民の医療の大半は和光園が受け持っていた。大西園長の在任当時、往診や外来診療のない日は殆どなかった⁵。

昭和39年5月14日、光田健輔元長島愛生園園長(大西ヒサ名瀬カトリック診療所の父)が死去、同年5月25日園内講堂で追悼ミサが行われた^{6,7,8}。



昭和41(1966)年の夏ごろ、小笠原先生(78歳)の疲れが目立ったので大西園長は、甚目寺(愛知県)に帰られて静養されるように進言した。小笠原先生は年に一度か二度帰省していたので和光園の人々は、いつもの旅行だと思った。また、小笠原先生もそのつもりであったようである。書籍も一切の家具もそのまま小笠原先生は出発したが、再び奄美の地に帰って来ることはなかった⁹。4年後の昭和45(1970)年12月12日小笠原先生(82歳)は、その生涯を閉じた。小笠原先生の和光園での勤務は、昭和32年9月から昭和41年10月までの約9年間であった。

昭和43(1968)年4月7日、大西先生が園長で松原若安が事務長の時、皇太子殿下(平成の天皇、現上皇)・同妃殿下が和光園を行啓された。同年4月15日、松原事務長(60歳)は、大任を果たし歴代最長16年間の勤務を終えた^{10,11}。

大西園長が、歴代最長約12年間園長を務めた後、昭和44年4月に大島青松園(香川県)から大島新之助園長(第8代園長)が赴任した¹²。大島園長の時代、昭和46(1971)年4月20日に高松宮殿下(昭和天皇の弟)夫妻が来園、昭和47(1972)年10月25日、天皇皇后両陛下が行幸啓されている。

在任期間
昭和44年4月1日
昭和50年12月31日



8代 大島新之助

在任期間
昭和51年1月1日
昭和59年9月30日



9代 真山 旭

在任期間
昭和59年10月1日
昭和63年3月31日



10代 有園秀夫

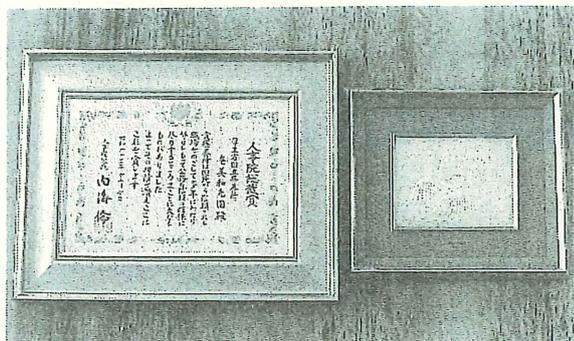
在任期間
昭和63年4月1日
平成10年3月31日



11代 瀧澤英夫

昭和51(1976)年1月1日、真山旭園長(第9代園長)が長島愛生園(岡山県)から赴任、昭和59(1984)年10月1日、有園秀夫副園長が園長(第10代園長)へ赴任した。

昭和62(1987)年4月、瀧澤英夫先生が栗生楽泉園の副園長から和光園へ赴任した。瀧澤英夫先生は、昭和63(1988)年4月有園園長の退官に伴い、園長(第11代園長)に昇任した¹³。昭和63年12月、和光園は厚生省機関としてただ一か所「人事院総裁賞」を受賞した¹⁴。



人事院総裁賞

第11代瀧澤園長は奄美和光園50周年記念誌として、「光仰ぐ日あるべし 南島のハンセン病療養所の五〇年」を出版(柏書房株式会社, 1993年8月10日発行, 定価3,600円)している。第5代大平園長は、この本は和光園の誇りであると述べており¹⁵、

第12代宮城園長は、この本を読破しないと和光園の職員にはなれないと述べている¹⁶。和光園には、他の国立のハンセン病療養所と異なり、入所者自治会が発行した記念誌がない¹⁷。田中一村の描いた絵を表紙としているこの本は、和光園職員必読の書と言える。



福祉係(学芸員) 岩辻 好夫

- 1 光仰ぐ日あるべし 南島のハンセン病療養所の五〇年, 1993年8月10日発行, P 99
- 2 国立療養所奄美和光園 創立40周年記念誌 昭和58年4月5日, P 21
- 3 光仰ぐ日あるべし 南島のハンセン病療養所の五〇年, P 101
- 4 創立70周年記念誌 国立療養所奄美和光園 平成25年(2013), 平成27年3月発行, P 151
- 5 光仰ぐ日あるべし 南島のハンセン病療養所の五〇年, 1993年8月10日発行, P 101
- 6 創立40周年記念誌 昭和58年4月5日, P 35
- 7 カトリック奄美100年 奄美福音宣教100周年記念誌, 1992年3月22日発行, P 102
※こちらでは、「10月25日追悼ミサ」と記述されてある。
- 8 “資料調査報告書(実物資料)国立療養所 奄美和光園(2分冊ノ2)2015(平成27)年11月 国立ハンセン病資料館”, P 75, 76 (ama1539~1545)
- 9 創立70周年記念誌 国立療養所奄美和光園 平成25年(2013), 平成27年3月発行, P 166
- 10 創立40周年記念誌 国立療養所奄美和光園 昭和58年4月5日, P 22
- 11 皇太子殿下 皇太子妃殿下 行啓記念誌, 昭和44年3月30日発行, P 1, 2, 3
- 12 光仰ぐ日あるべし 南島のハンセン病療養所の五〇年, 1993年8月10日発行, P 104
- 13 光仰ぐ日あるべし 南島のハンセン病療養所の五〇年, 1993年8月10日発行, P 111
- 14 光仰ぐ日あるべし 南島のハンセン病療養所の五〇年, 1993年8月10日発行, P 112
- 15 創立70周年記念誌 国立療養所奄美和光園 平成25年(2013), 平成27年3月発行, P 136
- 16 行幸啓及び創立60周年記念誌—最近10年のあゆみ—, 平成18年12月発行, P 54
- 17 光仰ぐ日あるべし 南島のハンセン病療養所の五〇年, 1993年8月10日発行, P 186

NST News Letter

No.19

NSTは、多職種の医療スタッフがチームを組み、対象者の栄養状態を良好に保持する活動を行うことを目的としております。その中で理学療法士は、対象者のADLの状態を評価し、筋肉・持久力・身体測定の評価を行うなどの役割を担っております。

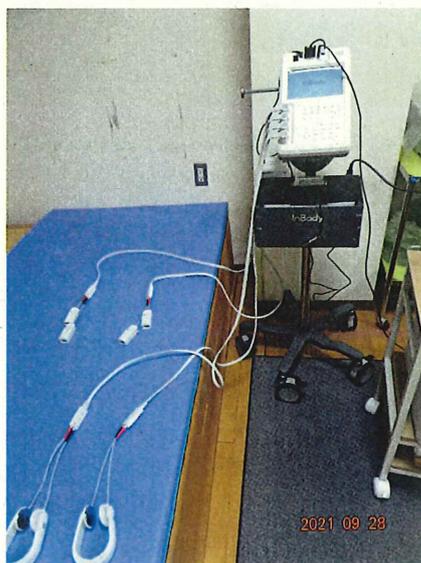
そこで今回は、インボディという体成分分析装置を紹介します。インボディは、体の成分である体水分量や筋肉量を測定する高精度な体成分分析装置で、水分、タンパク質、ミネラル、体脂肪を定量的に表示し

ます。インボディによる計測によって、筋肉量を把握でき、サルコペニア（加齢性筋肉減弱症）の診断が可能となります。また、筋肉量の減少は、転倒や転落による骨折の危険性が高まって、要介護状態になる可能性があるため、栄養状態が良好であるか、運動が適切に実施できているかなどを考える材料とすることもできます。

インボディには、以下の項目を評価する機能があります。

- ① 体成分分析：体の4大成分（体水分、タンパク質、ミネラル、体脂肪）の現状を表示します。
- ② 筋肉・脂肪：筋肉量と脂肪量が体重に対して適切であるかを、棒グラフで表示します。
- ③ 肥満指標：BMIと体脂肪率を提供し、総合的な肥満の評価が可能です。
- ④ 部位別筋肉量：四肢と体幹の部位別に測定し、筋肉の発達程度と、身体の上下左右が均衡に発達しているかを評価します。
- ⑤ 部位別水分量：四肢と体幹の部位別に測定します、体水分は筋肉の主な構成成分であり、必ず、筋肉量に比例します。
- ⑥ 体水分均衡：体水分量を更に細胞内水分量と細胞外水分量に分けて測定します。細胞外水分比は体水分の均衡を反映する指標となります。

表：インボディの評価項目



写真：インボディの本体

上記以外にも、多項目から分析する機能なども有しております。

栄養状態や体成分が気になる入所者の皆様、職員の方がおられましたら、リハビリテーション室まで、お気軽にご相談ください。

リハビリテーション室

理学療法士 西島 卓生

令和3年度 診療統計

	外来診療					特記		入院診療		
	初診(人)	再診(人)	合計(人)	1日平均 (人)	診療実日数 (日)	紫外線療法 (件)	手術/生検 (件)	入院(人)	退院(人)	延患者数 (人)
9月	83	263	346	31.5	11	49	1	0	0	0
10月	110	267	377	29.0	13	58	7	0	0	0

人事異動

(令和3年9月1日～令和3年10月31日)

R 3. 9. 1	山田 百合子	准看護師	復職 (病気休職)
R 3. 10. 1	杉島 友子	清掃等軽作業 (非常勤職員)	採用
	安田 真波	清掃等軽作業 (非常勤職員)	採用
R 3. 10. 8	有村 志津子	調理助手 (非常勤職員)	採用
R 3. 10. 31	幸 海恵	看護師 (臨時的任用職員)	任期満了

和光園日誌

(令和3年9月1日～令和3年10月31日)

R 3. 9. 1	B L S研修 (第3回)
9. 23	前川嘉洋名誉園長 逝去
9. 29	B L S研修 (第4回)
10. 6	B L S研修 (第5回)
10. 7	消防訓練
10. 20	B L S研修 (第6回)
10. 23～	国立病院総合医学会 (WEB開催)
10. 26	秋祭り

編集後記

朝晩の冷え込みが秋の到来を感じます。しかし、今は暦の上では「冬」なんですね。奄美で暖かく越冬できるかと思いきや、職員からは「奄美も冬は寒い」と言われ、さらに今年はラニーニャ現象により平年より寒くなると予想されています。奄美に初めて来られた方、地元奄美の方も健康管理には気を付けましょう。新型コロナウイルス感染対策も含めて、うがい、手洗いをしっかりして、元気に冬を乗り切りましょう。

編集委員 岡部 達枝